

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 25. 3. 29 第 183 回国会第 5 号

3 月 29 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部を改正する等の法律案（内閣提出第 16 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）株式会社三菱総合研究所理事長 東京大学総長顧問 小宮山 宏君
京都大学大学院経済学研究科教授 依田 高典君
旭ファイバーグラス株式会社代表取締役社長執行役員 狐塚 章君
エナジーコンシャス代表 消費生活アドバイザー 山川 文子君

（質疑者及び主な質疑内容）

宮崎 政久君（自民）

- ・我が国の省エネをさらに促進するため、スマートメーターの普及がほぼ完了したとされるカリフォルニア州から学ぶべき点、及び断熱材の普及拡大に資する政府の支援策について参考人の意見を伺いたい。
- ・我が国の省エネルギー技術をパッケージ化して海外に輸出することが必要だと考えているが、今後どのような取組みが必要だと考えているか。

國重 徹君（公明）

- ・省エネ対策に係る国民への情報提供は何が問題であるのか、また、欧米よりも我が国が遅れているとされるスマートグリッドについて欧米諸国の水準に追いつくためには何が欠けているのか。
- ・省エネを推進するための情報提供の仕方について今後政府としてどのような点を改善していくべきだと考えているのか。

大島 敦君（民主）

- ・さらなる省エネを進めるため、トップランナー制度の規制を今まで以上に強める必要があるのではないか。
- ・我が国の住宅等の断熱性能は、欧米と比較すると半分程度であるという指摘もなされているが、今後の住宅

部門での省エネ余地についてどのように考えているか。

丸山 穂高君（維新）

- ・今回の法改正により、どの程度の電力需要のピークカット効果が期待できるのか。
- ・高性能断熱材の出荷量が近年伸び悩んでいる理由としてどのような事が考えられるのか。

井坂 信彦君（みんな）

- ・電力自由化の成否を決める重要なポイントまたは課題は何か。また、実現の可能性についての隠れた論点を伺いたい。
- ・電力会社側が設備投資をおさえ、発電コストを下げようとするインセンティブ設計があるか。
- ・省エネ投資の初期投資をゼロにするアイデアや知見を伺いたい。

塩川 鉄也君（共産）

- ・製造業におけるエネルギー原単位は横ばいが続いているが、さらなるエネルギー使用合理化のためには何が必要か。
- ・電力のピークコントロールにおける小規模事業者への配慮策についてどのように考えるか